saxa

IP Net Phone SX

取扱説明書（操作編）

このたびは、IP Net Phone SXをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ●この取扱説明書は本製品を使用する際の操作方法について説明しています。この取扱説明書を見て正しい操作を理解してください。
- ●お読みになった後も、本製品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

目次

1　お使いになる前に ……3

1.1　特長……3
1.2　セットの確認……4
1.3　各部の名称……5
1.4　ランプ位置とランプ表示……7
1.5　液晶ディスプレイ表示の見方……9
1.6　音の種類一覧 ……10
1.7　セットの接続 ……11
1.8　電話機の角度、表示器の角度を変える ……13

2　電話機の操作……14

2.1　音量調節とLCDコントラスト調節 ……14
2.1.1　音量調節 ……14
2.1.2　警告音（ハウラー） ……14
2.1.3　ＬＣＤコントラスト調節 ……14
2.2　電話のかけかた ……15
2.2.1　発信のしかた ……15
2.2.2　内線相手に電話をかける ……18
2.2.3　外線相手に電話をかける ……19
2.3　電話の受けかた ……20
2.3.1　着信種別ごとの電話の受けかた ……20
2.3.2　内線またはダイヤルイン相手からの電話を受ける ……21
2.3.3　外線相手からの電話を受ける ……22
2.3.4　通話中にかかってきた電話を受ける ……23
2.4　保留のしかた ……24
2.4.1　自己保留のしかた ……24
2.5　転送のしかた ……26
2.5.1　転送先と通話をしてから転送する ……26
2.5.2　転送先を呼び出し中に転送する ……27
2.6　代理応答のしかた ……28
2.6.1　自分以外にかかってきた電話に応答する ……28
2.7　便利な使い方 ……29
2.7.1　電話帳を使って電話をかける（プリセット発信） ……29
2.7.2　短縮ダイヤルを使って電話をかける（プリセット発信） ……30
2.7.3　ワンタッチダイヤルを利用して電話をかける（プリセット発信） ……31
2.7.4　発信履歴を利用して電話をかける ……32
2.7.5　着信履歴を利用して電話をかける ……33
2.7.6　プッシュ音（ＤＴＭＦ）送出 ……34
2.7.7　スピーカ受話 ……34
2.7.8　ハンズフリー通話 ……35

目次

2.7.9　コールウェイティング ……36
2.7.10　ミックスダイヤル ……41
3　付録……44
3.1　「故障かな？」と思ったら ……44
3.1.1　こんなときには ……44
3.2　仕様一覧 ……45

1　お使いになる前に

1-1　特長

●漢字表示対応

大型LCDを搭載し、全角10文字×4行の漢字表示が可能です。

●電話帳

最大500件の相手先の電話番号と表示名を登録が可能です。
着信時に登録した電話番号と一致するデータがある場合、LCDに相手先表示名を表示可能です。

●マルチラインを意識したキー構成

30または18個の2色LED付きフレキシブルオートキーを装備。

●LAN給電対応

給電HUBからのLAN給電に対応し、ACアダプタ無しで運用することが可能です。

●スイッチングHUB機能内蔵

10BASE-T／100BASE-TXで2ポートのスイッチングHUB機能を内蔵し、パソコンへの接続を簡単に行えます。

1-2　セットの確認

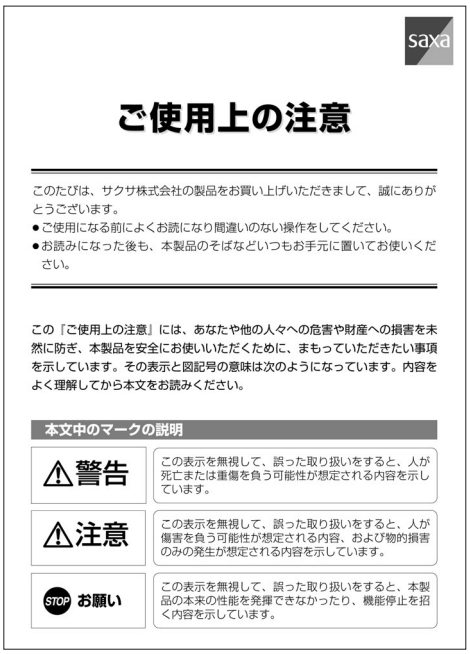
本機を箱から取り出したら、梱包されている内容を確認してください。
万一、不足しているものがある場合は、販売店にご連絡ください。

◆本体

または

本体

◆付属品



saxa

ご使用上の注意

このたびは、サクサ株式会社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ご使用になる前によくお読になり間違いのない操作をしてください。
- お読みになった後も、本製品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

この「ご使用上の注意」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、まもっていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

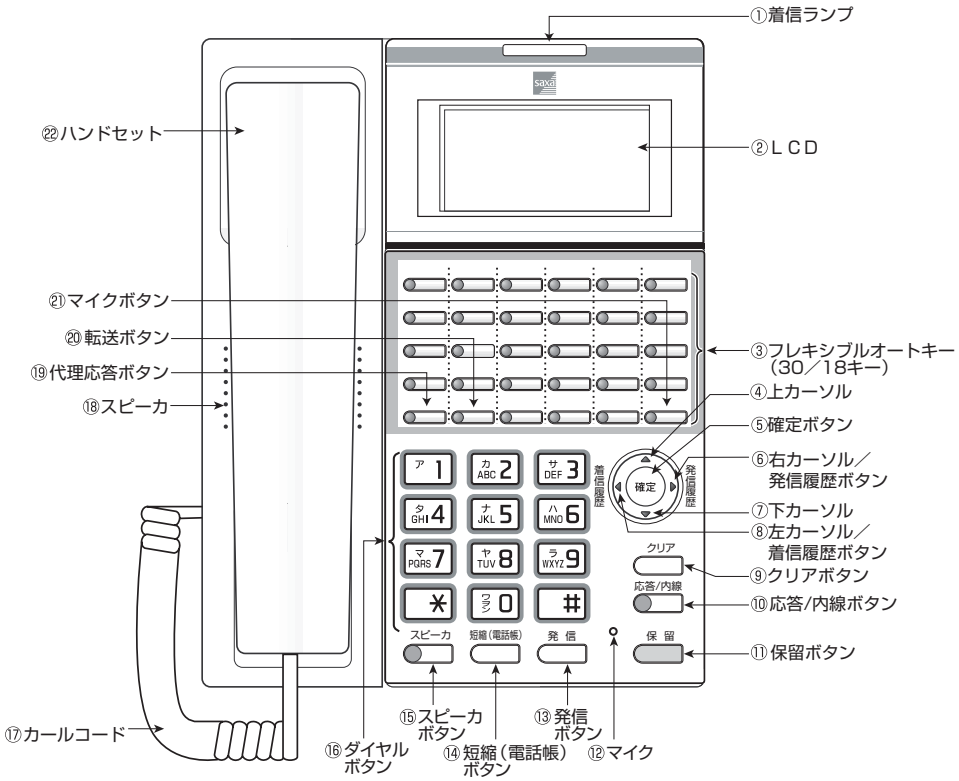
本文中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

「ご使用上の注意」

1-3　各部の名称

＜本体＞



① 着信ランプ
着信がある時に点滅します。

② ＬＣＤ
時刻、メニュー、ダイヤル等の表示を行います。

③ フレキシブルオートキー
外線ボタン、ワンタッチボタン、パークボタン、マイクボタン、代理応答ボタンなどとして使うことができます。

④ 上カーソル
受話音量/着信音量を上げるときや、カーソルを上に移動するときに使います。

⑤ 確定ボタン
メニューを表示するときや、設定を行うときに使います。

⑥ 右カーソル/発信履歴ボタン
発信履歴表示に使います。

⑦ 下カーソル
受話音量/着信音量を下げるときや、カーソルを下に移動するときに使います。

⑧ 左カーソル/着信履歴ボタン
着信履歴表示に使います。
メニュー表示の時に一つ前のメニューに戻るときに使います。

⑨ クリアボタン
ダイヤル入力時や、設定入力時に入力をキャンセルするために使います。

⑩ 応答/内線ボタン
電話をかけるときに使います。
内線着信/ダイヤルイン着信に応答するときに使います。

⑪ 保留ボタン
お話を個別保留するときに使います。

⑫ マイク
ハンズフリーでお話しする際に使います。

⑬ 発信ボタン
ダイヤル後すぐ発信するときに使います。

⑭ 短縮(電話帳)ボタン
短縮ダイヤルや電話帳で電話をかけるときに使います。

⑮ スピーカボタン
スピーカ受話やオンフックダイヤルをするときに使います。

⑯ ダイヤルボタン
電話をかけたり、登録や設定のときに使います。

⑰ カールコード

⑱ スピーカ
着信音や相手の声を聞くことができます。

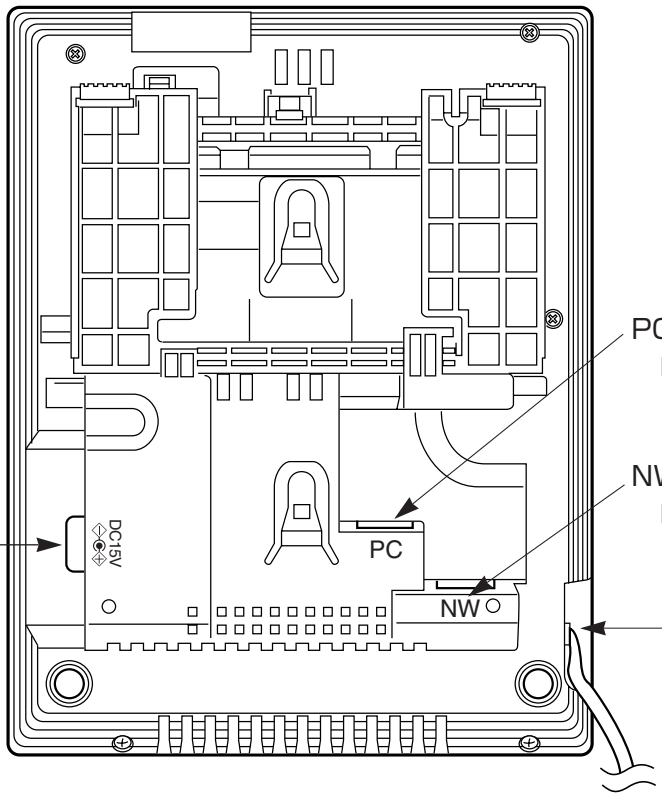
⑲ 代理応答ボタン
代理応答するときに使います。

⑳ 転送ボタン
転送するときに使います。

㉑ マイクボタン
マイクを有効とするときに使います。

㉒ ハンドセット
お話しする際に使います。

＜底面＞



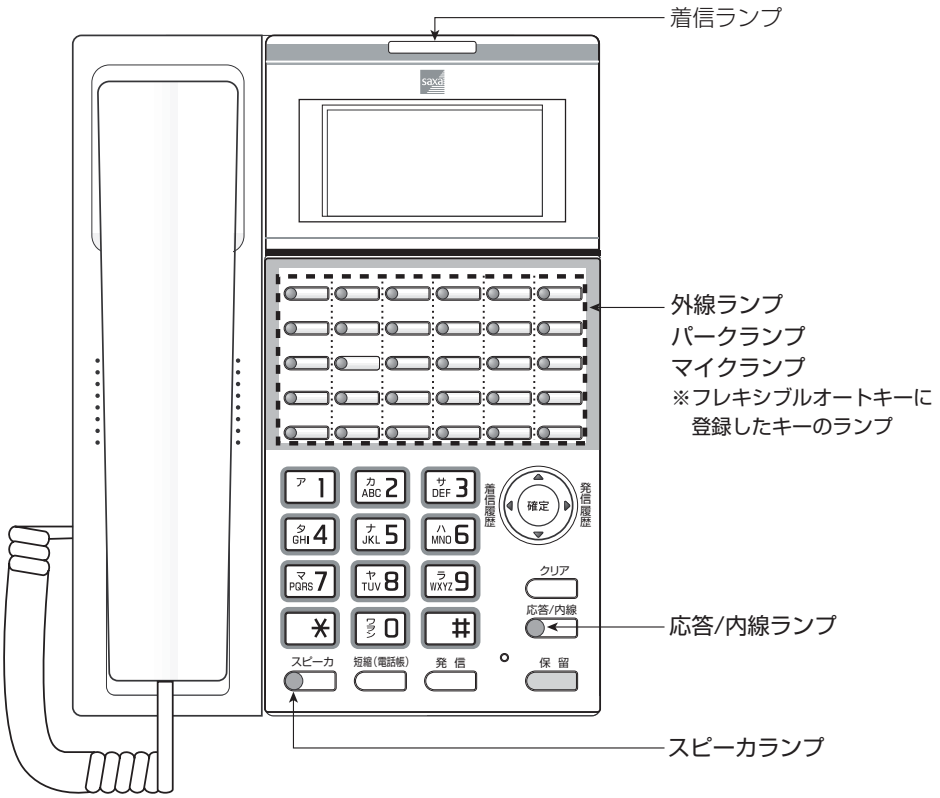
PCポート
ＬＡＮケーブルを差し込みます。

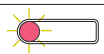
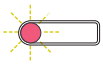
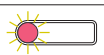
NWポート
ＬＡＮケーブルを差し込みます。

DCジャック
ACアダプタを
接続します。

カールコード差込口
ハンドセットを接続します。

1-4　ランプ位置とランプ表示



ランプの種類		ランプのつき方(色)	電話機の状態	ランプ状態
着信ランプ		速い点滅　（赤）	内線着信中／ダイヤルイン着信中	
フレキシブルオートキー	外線ランプ	速い点滅　（赤）	外線一斉着信中	
		遅い点滅　（緑）	保留中	
		点灯　（緑）	通話中	
	パークランプ	遅い点滅　（緑）	自己パーク保留中	
		遅い点滅　（赤）	他者パーク保留中	
	マイクランプ	点灯　（赤）	マイクON	
	転送ランプ	「チカチカ……チカチカ」という点滅(2回点灯)（赤）	転送先発信中	
	自動応答ランプ	点灯　（緑）	自動応答ON	
	ボイスメール	「チカチカ……チカチカ」という点滅(2回消灯)（赤）	ボイスメールあり	
	着信転送設定ランプ	点灯　（緑）	着信転送ON	
	コールウェイティングランプ	速い点滅　（赤）	通話中内線着信中	
		遅い点滅　（橙）	コールウェイティングでの通話中	
応答/内線ランプ		速い点滅　（赤）	内線着信	
		遅い点滅　（赤）	自己保留中	
		点灯　（赤）	回線捕捉中／通話中	
スピーカランプ		点灯　（赤）	スピーカ受話中／ハンズフリー通話中	

1-5　液晶ディスプレイ表示の見方

【通常表示】（待機状態）

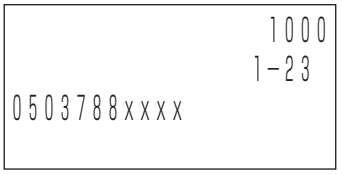
【発信中表示：電話帳に登録があるとき】

【内線着信表示：電話帳に登録があるとき】

【外線着信／ダイヤルイン着信表示：電話帳に登録があるとき】

【外線着信／ダイヤルイン着信表示：非通知のとき】

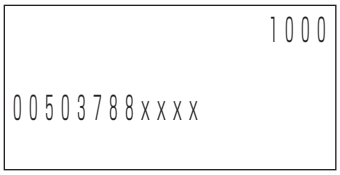
【通話中表示】



補 足

通話時間表示について
通話時間は、時－分－秒と表示されます。24時間制で表示します。

【ダイヤル入力中表示】



【発信中表示：電話帳に登録がないとき】

●ダイヤルを入力して電話をかけるときは、電話帳に登録されていても電話帳の登録名は表示されません。

【内線着信表示：電話帳に登録がないとき】

●発信元名称は、ディスプレイネームで通知された名称が表示されます。

【外線着信／ダイヤルイン着信表示：電話帳に登録がないとき】

【通話中表示：非通知のとき】

1-6　音の種類一覧

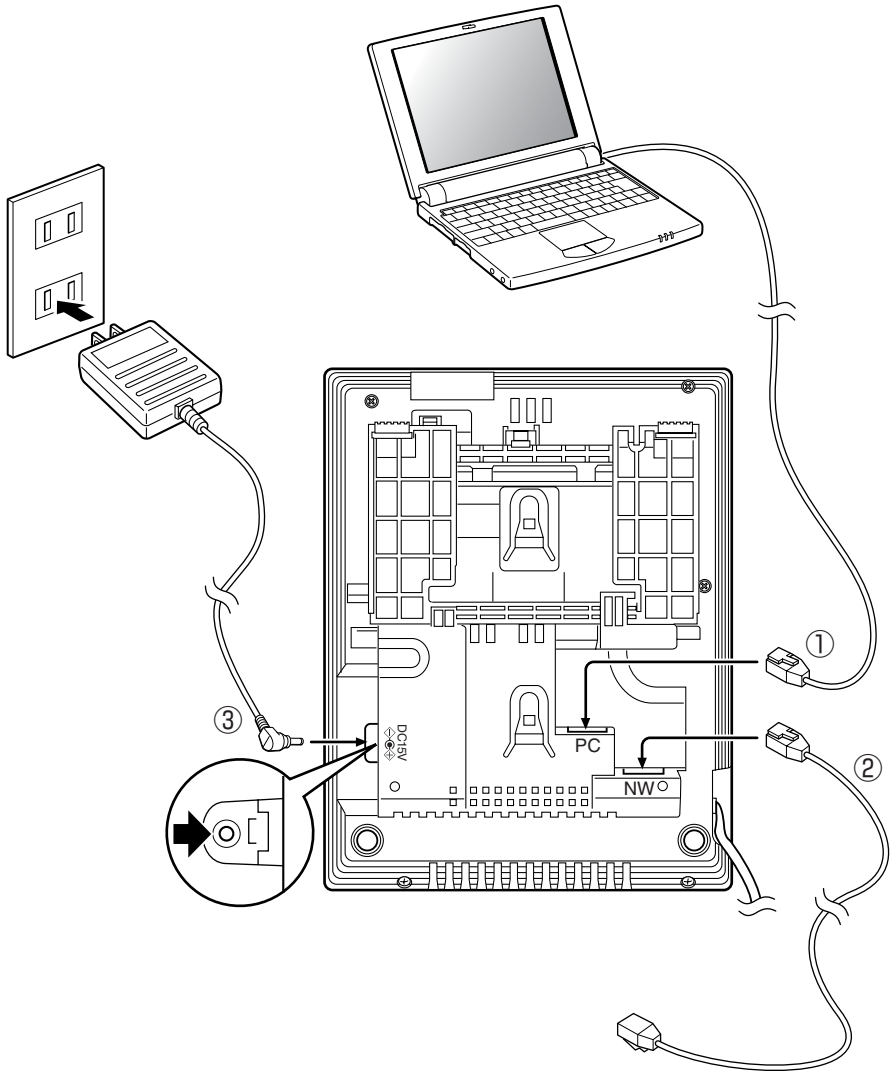
種類		音	発生源
発信音	内線	プープープー	ハンドセットまたはスピーカ
	外線	プー	ハンドセットまたはスピーカ
	転送	プププププププププ	ハンドセットまたはスピーカ
着信音	内線	プルルル・・・プルルル	スピーカ
	外線	プルルルルルル・・・プルルルルルル	スピーカ
	ダイヤルイン	プルプルプルプル・・・プルプルプルプル	スピーカ
	通話中着信音	ピーピーピー	ハンドセットまたはスピーカ
	自動応答着信音	ピッピー	スピーカ
保留警告音		プップッ・・・プップッ	スピーカ
着信転送設定確認音		プーッ	スピーカ
話中音		プーップーッ	ハンドセットまたはスピーカ
保留完了音		プップップッ	ハンドセットまたはスピーカ
呼び出し音		プルルルルルル・・・プルルルルルル	ハンドセットまたはスピーカ
エラー音		ピーピーピー	スピーカ
ハウラー音		ピーーーーーー	スピーカ
キータッチ音		ピッ	スピーカ

補足

着信音は、端末設定またはサーバ側の仕様により変わります。

1-7　セットの接続

<ACアダプタ（オプション）をご使用の場合>



① PCにつながっているLANケーブルをPCポートにつなぎます。

② VoIPネットワークにつながるLANケーブルをNWポートにつなぎます。

③ ACアダプタをDCジャックにつなぎます。

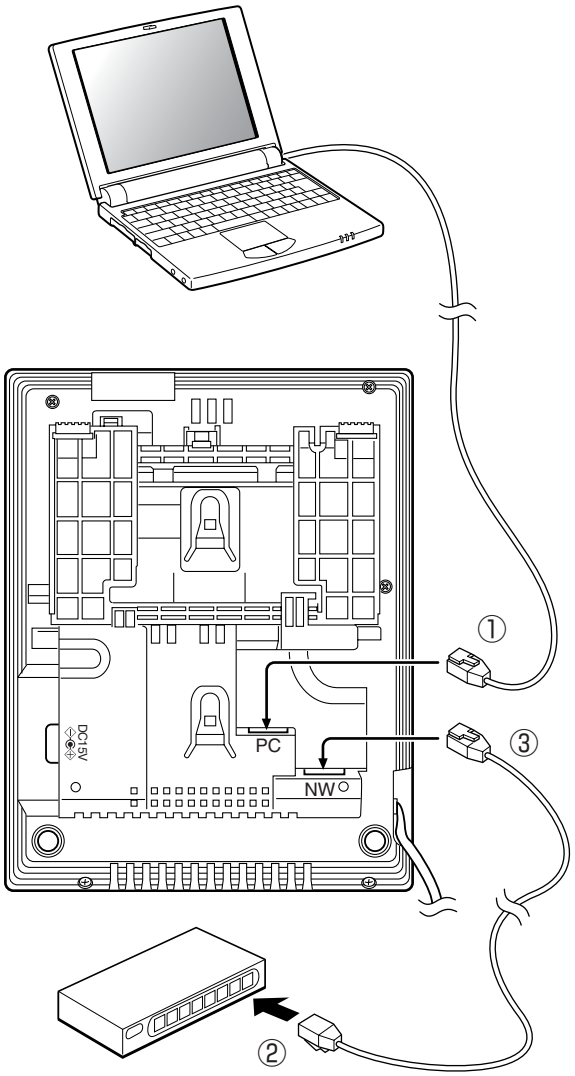
ご注意

◆LANケーブルを差し込むときは、カチッと音が出るまで差し込んでください。

◆LANケーブルはカテゴリー5以上のものをお使いください。

◆LANケーブルはストレートケーブルをお使いください。

＜給電HUBをご使用の場合＞



① PCにつながっているLANケーブルをPCポートにつなぎます。

② 給電HUBにLANケーブルを接続します。

③ 給電HUBに接続したLANケーブルの片側をNWポートにつなぎます。

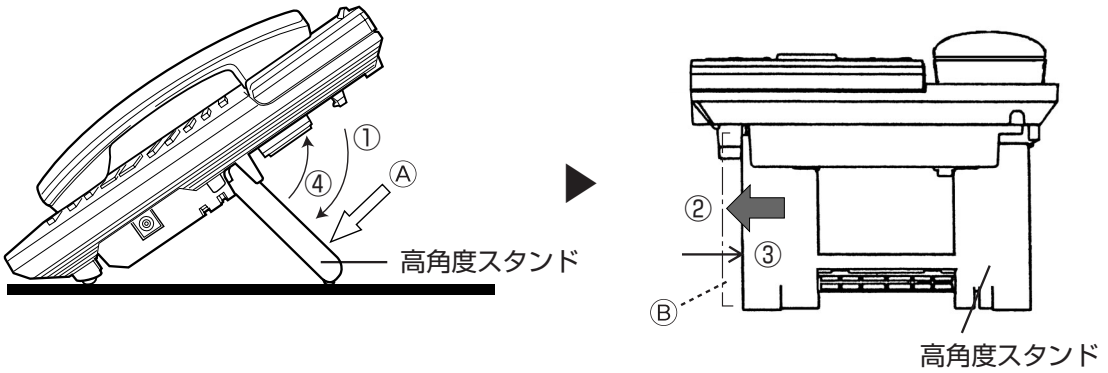
ご注意

◆LANケーブルを差し込むときは、カチッと音が出るまで差し込んでください。
◆LANケーブルはカテゴリー5以上のものをお使いください。
◆LANケーブルはストレートケーブルをお使いください。

1-8　電話機の角度、表示器の角度を変える

＜電話機の角度を変える＞

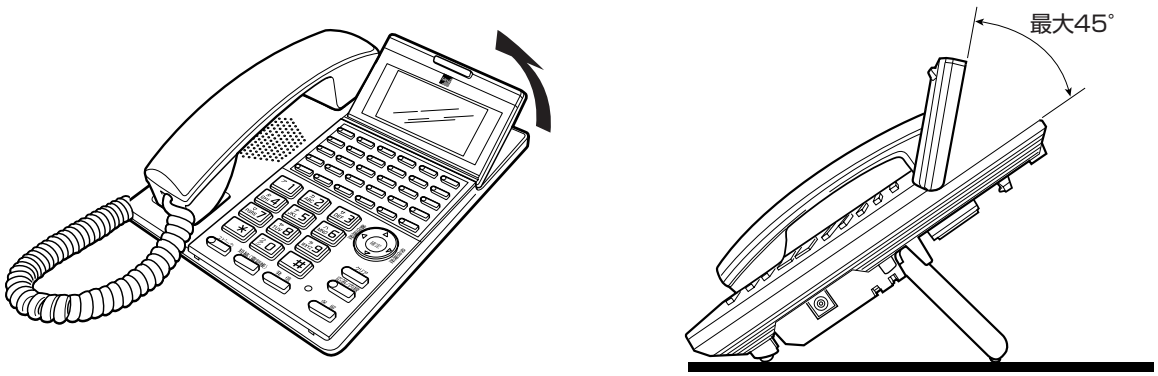
電話機（IP Net Phone SX）の設置角度を変えることができます。裏面の高角度スタンドを使って下図のように角度を変えます



1．高角度スタンドがⒶの位置でストップするまで①方向に引き下げます。
2．高角度スタンドをⒷの位置まで②方向に移動させます。
3．高角度スタンドを戻すときは、最初に高角度スタンドを③方向に移動させ、次に④方向に戻します。

＜表示器の角度を変える＞

電話機（IP Net Phone SX）の表示器の角度を変えることができます。
図のように表示部を持ち上げるだけで、見やすい角度に調節することができます。



2 電話機の操作

2-1 音量調節とLCDコントラスト調節

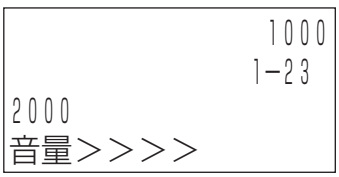
2-1-1 音量調節

＜着信音量調節＞

カレンダー／時計を表示しているときに、［▲］または［▼］ボタンを押して着信時の着信音量を調節することができます。
音量の大きさは9段階（音量を0にするとミュートとなります）で調節できます。

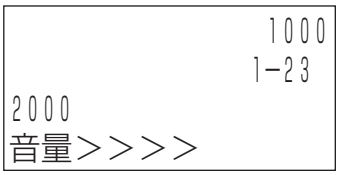
＜スピーカ受話音量調節＞

スピーカから発信音または相手からの声が聞こえているときに、［▲］または［▼］ボタンを押してスピーカの受話音量を調節することができます。
音量の大きさは8段階で調節できます。



＜受話器受話音量調節＞

受話器で相手のかたとお話ししているときに、［▲］または［▼］ボタンを押して受話器の受話音量を調節することができます。
音量の大きさは8段階で調節できます。



2-1-2 警告音(ハウラー)

話中音が聞こえているときに、受話器を長時間上げたままでいると警告音を出します。
受話器を元に戻すと警告音が停止します。

補足

電話機の設定によって、話中音が聞こえない場合があります。電話機の設定については、工事担当者にご確認ください。

2-1-3 LCDコントラスト調節

カレンダー／時計を表示しているときに、［確定］ボタンを押してメニューを表示させ［4］を押すとLCDコントラストを調節することができます。
［▼］ボタンまたは［▲］ボタンを押してLCDのコントラストを調節します。
コントラストは8段階で調節できます。

2-2　電話のかけかた

2-2-1　発信のしかた

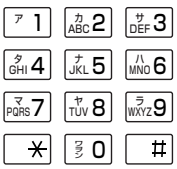
<受話器をあげてからダイヤルする(オフフック発信)>

▼操作手順

1 受話器をあげる

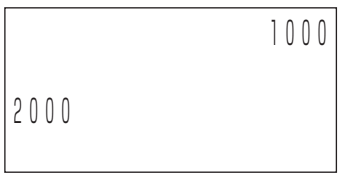
- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

応答/内線

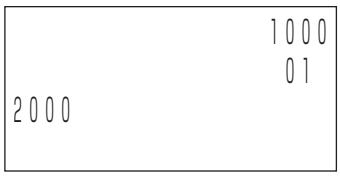


2 電話番号をダイヤルする

- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機が自動的にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。



3 相手の方が出たら、お話しをする



4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

応答/内線

補足

◇操作手順2で電話番号をダイヤルした後、［発信］ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。
◇電話番号を間違えたときは、受話器を置いて、操作手順1からやり直してください。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

<受話器を置いたままダイヤルする(オンフック発信)>

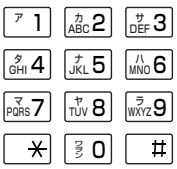
▼操作手順

スピーカ

1 [スピーカ] ボタンを押す

- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。
- スピーカランプが赤点灯します。

応答/内線　スピーカ



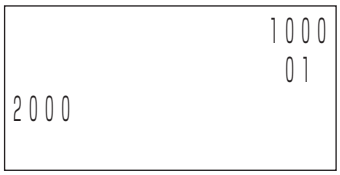
2 電話番号をダイヤルする

- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機が自動的にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。

スピーカ



4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

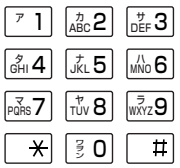
応答/内線

補足

◇操作手順2で電話番号をダイヤルした後、[発信] ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。
◇電話番号を間違えたときは、[スピーカ] ボタンを押して、操作手順1からやり直してください。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

<ダイヤル入力してから発信する(プリセットダイヤル)>

▼操作手順



1 電話番号をダイヤルする

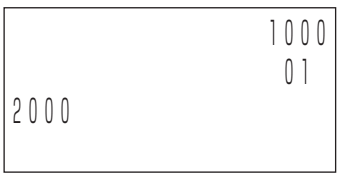
- カレンダー／時計表示の状態から相手先のダイヤルを入力します。

2 [発信] ボタンを押す

- ダイヤル発信し、スピーカから呼出音が聞こえます。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。
- スピーカランプが赤点灯します。

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。



4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

補 足

◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。
◇電話番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して、操作手順1からやり直してください。

2-2-2　内線相手に電話をかける

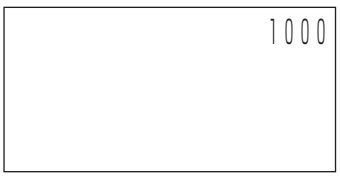
以下の動作は、オフフック発信で説明します。

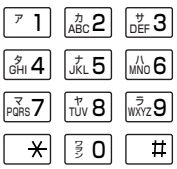
▼操作手順

1 受話器をあげる

- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

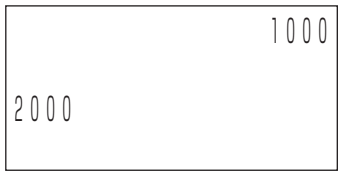
応答/内線



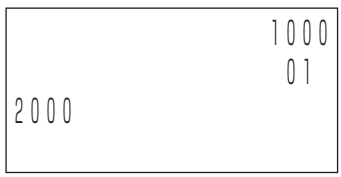


2 電話番号をダイヤルする

- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機が自動的にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。



3 相手の方が出たら、お話しをする



4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

応答/内線

補足

通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

2-2-3　外線相手に電話をかける

以下の動作は、オフフック発信で説明します。

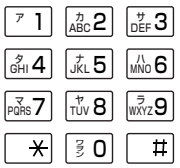
▼操作手順

1 受話器をあげる

- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

応答/内線

```
                1000
```



2 外線捕捉特番をダイヤルする

- 発信音が停止または「プー」という発信音がします。

```
                1000
0
```

3 電話番号をダイヤルする

- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機が自動的にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。

```
                1000
00503788xxxx
```

4 相手の方が出たら、お話しをする

```
                1000
                  01
00503788xxxx
```

5 お話しが終わったら、受話器を置く

応答/内線

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                1000
               12-07
00503788xxxx
```

補足

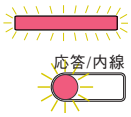
◇外線捕捉特番については、サーバの仕様によります。
◇外線捕捉特番のあとに「184」をダイヤルしてから相手ダイヤルを入力すると、非通知で電話をかけることができます。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

2-3　電話の受けかた

2-3-1　着信種別ごとの電話の受けかた

＜内線相手からの着信＞

- 着信ランプが赤点滅します。
- 応答/内線ランプが赤点滅します。
- 「プルルル・・・プルルル」という着信音が聞こえます。



1000
2000

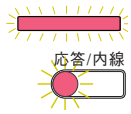
＜外線相手からの着信＞

- 外線ランプが赤点滅します。
- 「プルルルルルル・・・プルルルルルル」という着信音が聞こえます。

1000
yamadajiro
0503788XXXX

＜ダイヤルインでの着信＞

- 着信ランプが赤点滅します。
- 応答/内線ランプが赤点滅します。
- 「プルプルプルプル・・・プルプルプルプル」という着信音が聞こえます。



1000
0503788xxxx

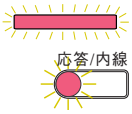
補足

着信音は、端末設定またはサーバ側の仕様により変わります。

2-3-2　内線またはダイヤルイン相手からの電話を受ける

▼操作手順

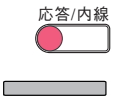
1 着信音が鳴り、着信ランプが赤点滅する



- 応答/内線ランプが赤点滅します。
- 電話帳に登録されている方から電話がかかってきた場合は、名前が表示されます。

```
                1000
山田三郎
2000
```

2 受話器をあげて、お話しをする



- 応答/内線ランプが赤点灯します。
- 着信ランプが消灯します。
- 着信音が停止します。

```
                1000
                  01
2000
```

3 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                1000
              12-07
2000
```

補足

◇操作手順1の状態で内線ボタンまたはスピーカボタンを押すと、スピーカ受話状態で着信に応答することができます。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

2-3-3　外線相手からの電話を受ける

▼操作手順

1 着信音が鳴り、外線ランプが赤点滅する

```
                1000
yamadajiro
0503788XXXX
```

2 受話器をあげて、お話しする

- 外線ランプが緑点灯します。
- 着信音が停止します。

```
                1000
                  01
0503788xxxx
```

3 お話しが終わったら、受話器を置く

- 外線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                1000
               12-07
0503788xxxx
```

補 足

◇操作手順1の状態で赤点滅している外線ボタンを押すと、スピーカ受話状態で着信に応答することができます。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。
◇電話機の設定により、操作手順2で受話器を上げることで自動的に電話を受けず、［外線］ボタンを押して電話を受ける操作手順に変更することもできます。電話機の設定については、工事担当者にご確認ください。

2-3-4　通話中にかかってきた電話を受ける

通話中にかかってきた外線電話に応答することができます。

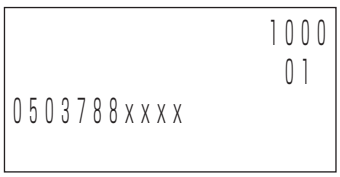
▼操作手順

1 通話中に、外線ランプが赤点滅する

2 通話中の方に別の着信があることを伝え、赤点滅している［外線］ボタンを押して着信に応答する

- 応答/内線ランプまたは緑点灯していた外線ランプが消灯します。（通話していた方の電話を切断）

- 赤点滅している外線ランプが緑点灯します。



補足

◇内線着信またはダイヤルイン着信には応答できません。
◇コールウェイティング機能を使用することにより、通話中の電話を切断せずにかかってきた電話に応答することができます。コールウェイティングについては「2-7-9 コールウェイティング」を参照してください。

2-4　保留のしかた

2-4-1　自己保留のしかた

<相手とのお話しを保留する／保留解除する(オフフック操作)>

相手とのお話しを保留することができます。

▼操作手順

保　留

1 相手の方とお話ししているときに、[保留] ボタンを押す（保留する）

- 受話器から「プププププ」という発信音が聞こえます。
- 相手の方に保留音が流れます。
- 内線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点滅します。
- 外線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点灯し、外線ランプが緑点滅します。

応答/内線

応答/内線

※この状態で、保留中の相手の方が電話を切った場合には、応答/内線ランプが赤点灯します。外線通話のときの外線ランプは消灯します。

応答/内線

1000

2 受話器を置く

- 「プププププ」という発信音が停止します。
- 外線通話の場合は、応答/内線ランプが消灯します。

応答/内線

1000
3-38
0503788xxxx

※この状態で、保留中の相手の方が電話を切った場合には、通話時間を6秒間表示し、カレンダー／時計表示に戻ります。
応答/内線ランプまたは外線ランプは消灯します。

応答/内線

または

補 足

受話器をおいたまま、自己保留状態が約30秒間継続すると「プップッ・・・プップッ」（保留警告音）という警告音が聞こえます。保留警告音を送出するまでの時間は変更することができます。その際は、工事担当者にご確認ください。

応答/内線

または

3 受話器をあげて、[内線] ボタンまたは [外線] ボタンを押して相手の方とお話しをする（保留解除する）

- 内線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点灯します。
- 外線通話の場合は、外線ランプが緑点灯します。

応答/内線

1000
4-38
0503788xxxx

<相手とのお話しを保留する／保留解除する(オンフック操作)>

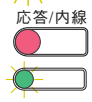
▼操作手順

保　留

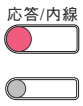
1 相手の方の声をスピーカで聞いているときに、［保留］ボタンを押す（保留する）

- スピーカから「ププププププ」という発信音が聞こえます。
- 相手の方に保留音が流れます。
- 内線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点滅します。

- 外線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点灯し、外線ランプが緑点滅します。

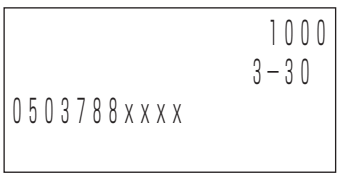


※この状態で、保留中の相手の方が電話を切った場合には、応答/内線ランプが赤点灯します。外線通話のときの外線ランプは消灯します。



スピーカ

2 ［スピーカ］ボタンを押す



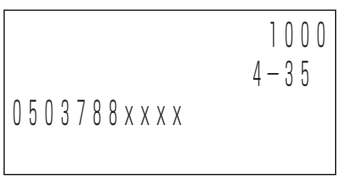
- 「ププププププ」という発信音が停止します。
- スピーカランプが消灯します。

- 外線通話の場合は、応答/内線ランプが消灯します。

※この状態で、保留中の相手の方が電話を切った場合には、通話時間を6秒間表示し、カレンダー／時計表示に戻ります。
応答/内線ランプまたは外線ランプは消灯します。

応答/内線
または

3 ［内線］ボタンまたは［外線］ボタンを押す(保留解除する)



- 内線通話の場合は、応答/内線ランプが赤点灯します。

- 外線通話の場合は、外線ランプが緑点灯します。

- スピーカランプが赤点灯します。

補 足

［転送］ボタンは初期設定でフレキシブルオートキーに割り付けられています。

2-5　転送のしかた

2-5-1　転送先と通話をしてから転送する

保留している通話を別の方に転送することができます。

▼操作手順

保 留

1 通話中に［保留］ボタンを押す

- 受話器またはスピーカから「プププププ」という発信音が聞こえます。

```
                1000
```

2 転送先の方の電話番号をダイヤルする

```
                1000
0503788xxxx
```

発 信

3 ［発信］ボタンを押す

- 呼出音が聞こえます。
- 転送ランプが「チカチカ・・・チカチカ」という赤点滅になります。

```
                1000
0503788xxxx
```

4 相手の方が出たら、お話しをする

- 転送ランプが消灯します。

```
                1000
                  03
0503788xxxx
```

5 転送することを伝え、受話器を置く

- 保留していた方と転送先の方が通話状態になります。
- 応答/内線ランプまたは緑点滅していた外線ランプが消灯します。

応答/内線

または

```
                1000
                1-07
0503788xxxx
```

補 足

◇転送先の方とお話し中に保留中の相手の方が電話を切った場合には、転送することはできません。（応答/内線ランプの場合は赤点灯、外線ランプの場合は消灯に変わります）

◇［転送］ボタンは初期設定でフレキシブルオートキーに割り付けられています。

◇転送先の電話機の仕様によっては、転送設定の変更が必要になることがあります。その際は、工事担当者にご確認ください。

2-5-2　転送先を呼び出し中に転送する

保留している通話を別の方に転送することができます。

▼操作手順

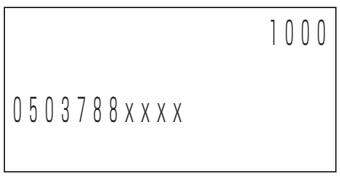
保　留

1 通話中に［保留］ボタンを押す

- 受話器またはスピーカから「プププププ」という発信音が聞こえます。

ア1 カABC2 サDEF3
タGHI4 ナJKL5 ハMNO6
マPQRS7 ヤTUV8 ラWXYZ9
＊ ワ0 ＃

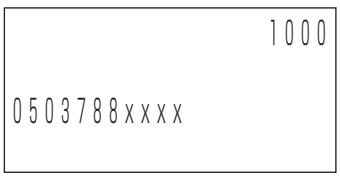
2 転送先の方の電話番号をダイヤルする



発 信

3 ［発信］ボタンを押す

- 呼出音が聞こえます。
- 転送ランプが「チカチカ・・・チカチカ」という赤点滅になります。



4 相手の方を呼び出し中に、［転送］ボタンを押す

- 転送ランプが消灯します。

5 相手の方が応答する

- 外線の場合は、外線ランプが消灯します。

補 足

◇転送先の方の電話番号をダイヤル中に保留中の相手の方が電話を切った場合には、転送することはできません。（応答/内線ランプの場合は赤点灯、外線ランプの場合は消灯に変わります）
◇転送失敗時は、応答/内線ランプの場合は赤点滅、外線ランプの場合は緑点滅しますので保留解除し元の方とお話ください。
◇［転送］ボタンは初期設定でフレキシブルオートキーに割り付けられています。
◇転送先の電話機の仕様によっては、転送設定の変更が必要になることがあります。その際は、工事担当者にご確認ください。

2-6　代理応答のしかた

2-6-1　自分以外にかかってきた電話に応答する

自分以外にかかってきた電話に応答することができます。

▼操作手順

代理応答

1 自分以外の電話機が着信中に［代理応答］ボタンを押す

- 着信のあった電話機の着信音が停止します。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。　応答/内線
- スピーカランプが赤点灯します。　スピーカ

1000

2 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。　スピーカ

1000
05

補足

◇代理応答の履歴は登録されません。
◇サーバ側の仕様によりご利用できない場合があります。
◇通話相手の電話番号は表示されません。

2-7　便利な使い方

2-7-1　電話帳を使って電話をかける（プリセット発信）

▼操作手順

短縮(電話帳)

1 [短縮] ボタンを押す

```
短縮:
```

短縮(電話帳)

2 [短縮] ボタンを押す

- 電話帳一覧が表示されます。

```
未来産業
未来産業　営業部
未来産業　技術部
山田　太郎
```

3 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンでお相手を探す

※ダイヤルボタンを使用して頭出し検索を行えます。

※ [クリア] ボタンで時計表示に戻ります。

※ [▶] ボタンで詳細情報が確認できます。

```
未来産業
未来産業　営業部
未来産業　技術部
山田　太郎
```

```
0503788xxxx

山田　太郎
ヤマダ　タロウ
```

発信

4 [発信] ボタンを押す

- 表示されている電話帳の内容で発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが赤点灯します。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

スピーカ　応答/内線

```
                1000
山田　太郎
0503788xxxx
```

5 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。

スピーカ

```
                1000
                  01
0503788xxxx
```

補足

◇電話帳の登録が0件の場合、“電話帳登録なし”と表示されます。

◇電話帳一覧はアイウエオ順で表示されます。また、ダイヤルボタンを使用して頭出し検索を行うことができます。詳しくは「取扱説明書（設定編）2-2-1　電話帳選択でのダイヤルボタン毎の頭出し優先順位一覧表」（P.52）を参照してください。

2-7-2　短縮ダイヤルを使って電話をかける(プリセット発信)

▼操作手順

短縮(電話帳)

1 [短縮] ボタンを押す

短縮:

2 短縮番号2桁(00～99)をダイヤルする

※もし短縮番号がわからないときは、任意の短縮番号をダイヤルしたあと［▼］ボタンまたは［▲］ボタンを押して短縮ダイヤルを選択することができます。

短縮:01
山田太郎
0503788xxxx

発 信

3 [発信] ボタンを押す

- 表示されている短縮内容で発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが赤点灯します。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

スピーカ
応答/内線

1000
山田太郎
0503788xxxx

4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。

スピーカ

1000
01
0503788xxxx

補 足

◇あらかじめ短縮ダイヤルの登録が必要です。
◇登録されていない短縮番号をダイヤルした場合は、相手先日本語表示、電話番号は表示されません。また、この場合発信操作をしても発信することはできません。
◇オフフック発信またはオンフック発信の場合は、入力した短縮ダイヤルの登録内容で即発信をします。

2-7-3　ワンタッチダイヤルを利用して電話をかける(プリセット発信)

▼操作手順

ワンタッチ

1 [ワンタッチ] ボタンを押す

- 登録されているダイヤルを表示します。

```
ワンタッチ:01
山田太郎
0503788xxxx
```

発 信

2 [発信] ボタンを押す

- 表示されているワンタッチ内容で発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが赤点灯します。（スピーカ）
- 応答／内線ランプが赤点灯します。（応答/内線）

```
                1000
山田太郎
0503788xxxx
```

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。（スピーカ）

```
                1000
                  01
0503788xxxx
```

補 足

◇あらかじめフレキシブルオートキーに［ワンタッチ］ボタンを割り付け、ワンタッチダイヤルの登録することが必要です。

◇ワンタッチの割り付けを変更したいときは、工事担当者に連絡してください。

◇登録されていないワンタッチ番号をダイヤルした場合は、相手先日本語表示、電話番号は表示されません。また、この場合発信操作をしても発信することはできません。

2-7-4　発信履歴を利用して電話をかける

過去20件分の発信履歴を使用して、電話をかけることができます。（プリセット発信）

▼操作手順

1 ［▶］（発信履歴）ボタンを押す

- 最後にかけたダイヤルが表示されます。

※［▼］または［▲］ボタンを押すことで過去の発信履歴を選択することができます。

発歴01　8/30　2:45PM
山田次郎
0503788xxxx

2 番号が見つかったら［発信］ボタンを押す

- 表示されている発信履歴で発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが赤点灯します。
- 応答／内線ランプが赤点灯します。

1000
山田次郎
0503788xxxx

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。

1000
01
0503788xxxx

補 足

◇一度も電話をかけていないときは、［発信履歴］ボタンを使って電話をかけることはできません。
◇相手の方と繋がらなかった場合でも発信履歴に相手の番号は登録されます。
◇電源を「OFF」にすると発信履歴に登録されている履歴は消去されます。
◇オフフック発信またはオンフック発信の場合は、［発信履歴］ボタンを押すと最新の発信履歴の内容で即発信をします。

2-7-5　着信履歴を利用して電話をかける

過去20件分の着信履歴を使用して、電話をかけることができます。

▼操作手順

1 [◀]（着信履歴）ボタンを押す

※［▼］または［▲］ボタンを押すことで過去の着信履歴を選択することができます。
※未応答の着信履歴は、1行目が白黒反転表示されます。

```
着歴01  8/30 10:45PM
山田次郎
0503788xxxx
```

2 番号が見つかったら［発信］ボタンを押す

- 表示されている着信履歴で発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが赤点灯します。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

```
                1000
山田次郎
0503788xxxx
```

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。

```
                1000
                  01
0503788xxxx
```

補足

◇一度も着信がないときは、［着信履歴］ボタンを使って電話をかけることはできません。
◇電源を「OFF」にすると着信履歴に登録されている履歴は消去されます。
◇オフフック発信またはオンフック発信の場合は、［着信履歴］ボタンを押すと最新の着信履歴の内容で即発信をします。
◇非通知の相手からの着信は着信履歴に残りません。
◇相手の方が転送してきた場合は、転送した方の履歴のみ残ります。

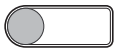
2-7-6　プッシュ音（DTMF）送出

通話中にダイヤルボタンを押すと、相手側にプッシュ音（DTMF）が送出されます。

2-7-7　スピーカ受話

受話器で通話中に、相手の声を「スピーカ」から聞くように切換えられます。

▼操作手順



1 通話中に［スピーカ］ボタンを押す

- スピーカランプは赤点灯します。

- スピーカ受話に切替わります。
- こちらの声は、相手に聞こえなくなります。

2 受話器を置く

※受話器をあげるとスピーカ受話は解除され、通常の受話器による通話に戻ります。

補足

◇スピーカ受話中は［▲］または［▼］ボタンでスピーカの音量が調節できます。
◇電話機の設定によっては、受話器を置いているスピーカ受話中に、通話相手の方が先に電話切った場合、自動的にカレンダー/時計表示に戻ることがあります。
◇電話機の設定によっては、スピーカ受話に連動して自動的にマイクを有効とすることができます。（通話終了で自動的にマイク無効）
◇電話機の設定については、工事担当者にご確認下さい。

2-7-8　ハンズフリー通話

スピーカ受話で通話中に、自分の声を「マイク」から伝えることができます。

▼操作手順

1 スピーカ受話中に、［マイク］ボタンを押す

- マイクランプが赤点灯します。
- スピーカとマイクをとおして通話ができる状態になります。

2 マイクに向かって話す

- こちらの声が、相手に聞こえます。

3 ［マイク］ボタンを押す

- マイクランプが消灯します。
- スピーカ受話に戻ります。

補 足

◇［マイク］ボタンは初期設定でフレキシブルオートキーに割り付けられています。
◇電話機の設定によっては、受話器を置いているスピーカ受話中に、通話相手の方が先に電話切った場合、自動的にカレンダー/時計表示に戻ることがあります。
◇電話機の設定によっては、スピーカ受話に連動して自動的にマイクを有効とすることができます。（通話終了で自動的にマイク無効）
◇電話機の設定については、工事担当者にご確認下さい。

2-7-9　コールウェイティング

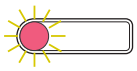
通話中にかかってきた電話に応答することができます。

＜通話中の内線電話に応答する＞

▼操作手順

1 通話中に、コールウェイティングランプが赤点滅する

- 受話器から「ピーピーピー」という着信音が聞こえます。



2 通話中の方に別の着信があることを伝え、赤点滅している［コールウェイティング］ボタンを押して、あとからかかってきた内線電話に応答する

- コールウェイティングランプが橙点滅します。
- 先に通話していた方を自己保留します。
- 内線通話の場合は、応答／内線ランプが赤点灯します。

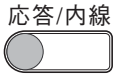
- 外線通話の場合は、外線ランプが緑点滅し、応答／内線ランプが赤点灯します。

3 お話しが終わったら受話器を置く

- コールウェイティングランプが消灯します。
- 通話していた方の電話を切断します。
- 保留していた方の電話は保留を継続します。
- 内線通話の場合は、応答／内線ランプが赤点滅します。

- 外線通話の場合は、応答／内線ランプが消灯します。

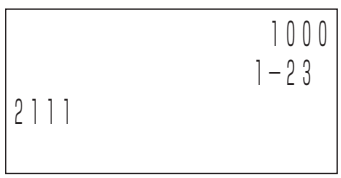
応答/内線



または

4 受話器をあげて、［内線］ボタンまたは［外線］ボタンを押して保留していた方とお話しをする

- 以降の操作は、通常の通話と同様です。



補足

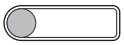
◇あらかじめフレキシブルオートキーに［コールウェイティング］ボタンを割り付ける必要があります。［コールウェイティング］ボタンを割り付けたい場合は、工事担当者に連絡してください。
◇コールウェイティングでの通話中、［コールウェイティング］ボタンを押すと、通話中の相手と保留中の相手を切り替えることができます。
◇コールウェイティングでの通話中、通話相手の方が先に電話を切った場合、一度受話器を置き、4の手順で保留していた方とお話します。
◇コールウェイティングでの通話中は、相手とのお話しを保留することはできませんので、パーク保留をご利用ください。（パーク保留については補足編を参照してください）
◇コールウェイティングでの通話中は、かかってきた電話に応答することはできません。
◇通話中にかかってきた電話に自動応答することはできません。
◇コールウェイティングでの通話中に保留中の相手の方が電話を切った場合、コールウェイティングランプが消灯します。

＜通話中の外線電話に応答する＞

▼操作手順

1 通話中に、外線ランプが赤点滅する

```
                1000
                2-01
2000
```



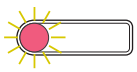
2 通話中の方に別の着信があることを伝え、［コールウェイティング］ボタンを押す

- コールウェイティングランプが橙点滅します。
- 保留音が聞こえます。
- 先に通話していた方を自己保留します。
- 内線通話の場合は、応答／内線ランプが赤点滅します。

- 外線通話の場合は、外線ランプが緑点滅します。

※この状態で、保留中の相手の方との通話に戻る場合は、再度［コールウェイティング］ボタンを押してください。

```
                1000
                2-07
2000
```



3 赤点滅している［外線］ボタンを押して、あとからかかってきた外線電話に応答する

- 保留音が停止します。
- 赤点滅している外線ランプが緑点灯します。

```
                1000
                01
0503788xxxx
```

4 お話しが終わったら受話器を置く

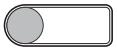
- コールウェイティングランプが消灯します。
- 通話していた方の電話を切断します。
- 保留していた方の電話は保留を継続します。
- 緑点灯していた外線ランプが消灯します。

```
                1000
                3-56
2000
```

5 受話器をあげて、［内線］ボタンまたは［外線］ボタンを押して保留していた相手の方とお話しをする

- 以降の操作は、通常の通話と同様です。

応答/内線



または

```
                1000
                4-06
2000
```

補足

◇あらかじめフレキシブルオートキーに［コールウェイティング］ボタンを割り付ける必要があります。［コールウェイティング］ボタンを割り付けたい場合は、工事担当者に連絡してください。
◇コールウェイティングでの通話中、［コールウェイティング］ボタンを押すと、通話中の相手と保留中の相手を切り替えることができます。
◇コールウェイティングでの通話中、通話相手の方が先に電話を切った場合、一度受話器を置き、4の手順で保留していた方とお話します。
◇コールウェイティングでの通話中は、相手とのお話しを保留することはできませんので、パーク保留をご利用ください。（パーク保留については補足編を参照してください）
◇コールウェイティングでの通話中は、かかってきた電話に応答することはできません。
◇通話中にかかってきた電話に自動応答することはできません。
◇コールウェイティングでの通話中に保留中の相手の方が電話を切った場合、コールウェイティングランプが消灯します。

コールウェイティングでの各ランプの状態を以下に示します。

＜通話中に電話がかかってきたときのランプ状態＞

		後からかかってきた方（着信中）	
		内線	外線2
先に通話していた方（お話し中）	内線	コールウェイティングランプ：速い点滅（赤） 着信ランプ：速い点滅（赤） 応答／内線ランプ：点灯（赤）	コールウェイティングランプ：消灯 応答／内線ランプ：点灯（赤） 外線2ランプ：速い点滅（赤）
	外線1	コールウェイティングランプ：速い点滅（赤） 着信ランプ：速い点滅（赤） 外線1ランプ：点灯（緑）	コールウェイティングランプ：消灯 外線1ランプ：点灯（緑） 外線2ランプ：速い点滅（赤）

＜コールウェイティングでの応答後のランプ状態＞

		後からかかってきた方（着信中）	
		内線	外線2
先に通話していた方（お話し中）	内線	コールウェイティングランプ：遅い点滅（橙） 応答／内線ランプ：点灯（赤）	コールウェイティングランプ：遅い点滅（橙） 応答／内線ランプ：遅い点滅（赤） 外線2ランプ：点灯（緑）
	外線1	コールウェイティングランプ：遅い点滅（橙） 外線1ランプ：遅い点滅（緑） 応答／内線ランプ：点灯（赤）	コールウェイティングランプ：遅い点滅（橙） 外線1ランプ：遅い点滅（緑） 外線2ランプ：点灯（緑）

2-7-10　ミックスダイヤル

ダイヤルボタンとワンタッチダイヤルを併用して電話番号を入力することができます。

＜受話器をあげてからダイヤルする（オフフック発信）＞

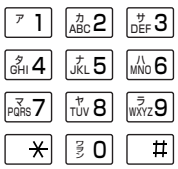
▼操作手順

1 受話器をあげる

- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。

応答/内線

```
                    1000
```



2 電話番号をダイヤルボタンから入力する

```
                    1000

0
```

3 付加したい電話番号が登録されている［ワンタッチ］ボタンを押す

- ダイヤルボタンで入力した電話番号の後に、［ワンタッチ］ボタンに登録されている電話番号を表示します。
- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機がLCDに表示されている電話番号に自動的に発信し、呼出音が聞こえます。

```
                    1000

00503788XXXX
```

4 相手の方がでたら、お話しをする

```
                    1000
                      01
00503788XXXX
```

5 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

応答/内線

```
                    1000
                      30
00503788XXXX
```

補足

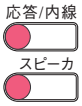
◇ダイヤルボタン、ワンタッチダイヤル、どちらからでもミックスダイヤルを利用することができます。
◇操作手順3で電話番号をダイヤルした後、［発信］ボタンを押すとすぐに発信することができます。
◇電話番号を間違えたときは、受話器を置いて、操作手順1からやり直してください。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

＜受話器を置いたままダイヤルする（オンフック発信）＞

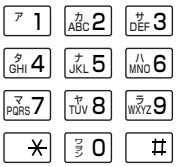
▼操作手順

1 [スピーカ] ボタンを押す

- 「プー」または「プープープー」という発信音を確認してください。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。
- スピーカランプが赤点灯します。




```
                1000
```



2 電話番号をダイヤルボタンから入力する

```
                1000
0
```

3 付加したい電話番号が登録されている [ワンタッチ] ボタンを押す

- ダイヤルボタンで入力した電話番号の後に、[ワンタッチ] ボタンに登録されている電話番号を表示します。
- 最終ダイヤルから設定時間後に電話機がLCDに表示されている電話番号に自動的に発信し、呼出音が聞こえます。

```
                1000
00503788XXXX
```

4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しする

- スピーカランプが消灯します。

```
                1000
                  01
00503788XXXX
```

5 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

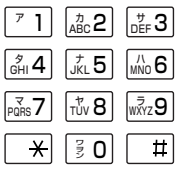
```
                1000
                  26
00503788XXXX
```

補 足

◇操作手順2はダイヤルボタン、ワンタッチダイヤル、どちらからでもミックスダイヤルを利用することができます。
◇操作手順3で電話番号をダイヤルした後、[発信] ボタンを押すとすぐに発信することができます。
◇電話番号を間違えたときは、[スピーカ] ボタンを押して、操作手順1からやり直してください。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

＜ダイヤル入力してから発信する（プリセットダイヤル）＞

▼操作手順



1 電話番号をダイヤルボタンから入力する

- カレンダー/時計表示の状態から相手先の電話番号をダイヤルボタンから入力する。

```
                1000

0
```

2 付加したい電話番号が登録されている［ワンタッチ］ボタンを押す

- ダイヤルボタンで入力した電話番号の後に、［ワンタッチ］ボタンに登録されている電話番号を表示します。

```
                1000

00503788XXXX
```

3 ［発信］ボタンを押す

- LCDに表示されている電話番号に発信し、スピーカから呼出音が聞こえます。
- 応答/内線ランプが赤点灯します。
- スピーカランプが赤点灯します。

```
                1000

00503788XXXX
```

4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しする

- スピーカランプが消灯します。

```
                1000
                  01
00503788XXXX
```

5 お話しが終わったら、受話器を置く

- 応答/内線ランプが消灯します。
- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                1000
                  20
00503788XXXX
```

補足

◇操作手順2はダイヤルボタン、ワンタッチダイヤル、どちらからでもミックスダイヤルを利用することができます。
◇電話番号を間違えたときは、［クリア］ボタンを押して、操作手順1からやり直してください。
◇通話相手の方が先に電話を切った場合は、受話器を置くとすぐにカレンダー/時計表示に戻ります。

3 付録

3-1 「故障かな？」と思ったら

3-1-1 こんなときには

故障の状態	原　因	処　置
「発信／着信」ができない	・SIPサーバが正常動作していない	・管理者に問い合わせて、SIPサーバを確認してください。
	・LANケーブルが抜けている	・LANケーブルを確認してください。
	・電源が入っていない	・ACアダプタを確認してください。 ・給電HUBを確認してください。
	・ネットワーク設定が間違っている	・管理者に問い合わせて、ネットワーク設定を確認してください。
ダイヤルキーの“＊”、“＃”がきかない	・電話機設定で“＊”、“＃”が無効になっている	・管理者に問い合わせて、電話機設定を確認してください。

※処置をしてもエラーが表示される場合は、お買い求めになった販売店に問い合わせてください。

3-2　仕様一覧

回線	接続インターフェイス	10BASE−T／100BASE−TX
	ポート数	2ポート
	伝送速度	10／100Mbps
	プロトコル仕様	SIP、TCP、UDP、RTP、DHCP、DNS、FTP、SNTP
	音声圧縮方式	G.729A、G711（μLaw）
サービス機能	電話機能	ボタン着信機能 マニュアル発信 ワンタッチダイヤル 電話帳 短縮ダイヤル ミックスダイヤル 発信履歴発信 着信履歴発信 コールウェイティング 自己保留 保留転送 グループ保留 DTMF信号送出
	プログラム更新	FTP
LCD表示機能		4行10桁表示（全角）
使用電源		AC100V±10%　50／60Hz DC48V（LAN給電　IEEE802.3af準拠）
消費電力		10VA（最大）
外形寸法		本体：約W180×D236.5×H83.2
質量		本体：約900g
ケース材質		ABS
使用条件		温度0～40℃　湿度20～85%RH（結露しないこと）

当社では、今後も環境に配慮した製品の開発を推進し、サクサブランドのエコ商品をグループ一体となって生み出すことにより、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

サクサエコマークは、下記の条件を満足した商品に適用します。

サクサエコ商品認定基準

＜環境に配慮した材料の採用＞

- 当社の定めた含有禁止物質を製品には使用しません。
- 当社の定めた含有抑制物質については、その使用量を把握管理し抑制に努めます。
- 酸性雨で地中に溶けだし人体に影響がある鉛については、使用量を把握管理し抑制に努めます。
- 焼却時にダイオキシンが発生する恐れのある、ポリ塩化ビニル（PVC）や特定臭素難燃剤（PBDE及びPBB）の使用を抑制します。
- 廃棄時の環境影響に配慮した当社の基準で推奨するプラスチック材料や金属材料を使用します。
- 取扱説明書には、エコ認定商品の再生紙を使用し、使用する印刷インキは大豆油インキ等の非石油系インキを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- リサイクルを容易にするために、プラスチック部品には材料名を表示します。
- リサイクルを考慮しプラスチック材料はできる限り統一します。
- プラスチック材料への二次加工を抑制した設計を行います。

＜環境に配慮した梱包剤＞

- 緩衝材に発泡スチロールはできる限り使用しないようにしています。

＜省エネルギー＞

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。

＜事前評価＞

- 設計・製造にあたっては、当社の定めた製品アセスメントを実施し、製品が環境に与える影響を評価しています。

本商品はサクサエコマークの製品です。

サクサ株式会社
〒108-8648 東京都港区白金1－17－3 NBFプラチナタワー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この資料の内容は平成19年12月現在のものです。

769IT	062－2	N

4299060500